

付きたい力の構造表

学び方やものの考え方を身に付け、自己の生き方を考えることができる力

地域に根ざした総合的な学習による深化・統合



課題を見つける力

課題を追究する力

学び合う力

気づく力

見通す力

情報を集める力

情報を活用する力

かく力

話す力

きく力

6年	情報を整理し、課題を追究する中で、新たな疑問や課題をもつことができる。	自分の課題を追究するにあたって、時間配分をするなど、具体的に活動の計画を立てることができる。	課題追究に適した方法を選びながら、自分に必要な情報を集めることができる。 ・既習の方法を生かす。 ・インターネットを活用する。 ・地域ボランティアの方に聞く。 ・地域の施設を調査する。 ・様々な機器を活用する。(電話やFAX) ・新聞や雑誌の記事から。など	情報として得たことを用いて、自ら体験したり確かめたりすることができる。 自分の課題に対して、様々な資料から考察することができる。	自分の主張が相手にわかりやすく伝わるように、構成を考えて表すことができる。 ・自分の主張を伝えるのにふさわしい表現方法を選択し決定する。 ・図や表、グラフを効果的に使う。	自分の主張が相手に伝わるように、話す上で構成を考え、根拠を明らかにして話すことができる。 ・話法の工夫。	話し手の意図を考えながら聞き、自分の調べた内容と比較して考え、自分の意見を述べ、自分の考えを深めることができる。
5年	写真や絵資料、実物などから、自分の経験や生活と比べて課題をもつことができる。	自分の課題を追究するのにふさわしい調べ方を決めることができる。	多様な手段を用いて、必要な資料や情報を集めることができる。 ・実際に見学に行く。 ・準備されたホームページで調べる。 ・図書の中から必要なことを調べる。 ・辞典を使って調べる。 ・グラフや表から読みとる。 ・インタビューをする。	集めた情報の中の分らない言葉を自分の言葉に置き換えることができる。 集めた情報の中から必要なものを選択することができる。	自分が相手に伝えたいことを落とさずに分かつことができ、表現方法を選択することができる。 ・図や絵を使う。 ・レイアウトを考えて、見出しや色彩、字の大きさを選ぶ。	自分が伝えたいことが相手によく分かるように、発表方法を考えることができる。 ・分担して。 ・順序を考えて。 ・動作化を取り入れて。 ・実物や資料を使って。	話し手が伝えたいことに注意して聞き、質問をしたり感想を言うことができる。
4年	写真や絵資料、実物などの特徴や特色に気づき、それに対する疑問や願いから課題をもつことができる。	どんな調べ方があるかを知り、課題を追究するに適した調べ方を選ぶことができる。	用意された絵・写真・本で調べる。 ・話を聞いてメモを取る。	集めた情報を使って、大事なことを落とさずにまとめることができる。	集めた情報を仲間に分かりやすく表すことができる。 ・見やすい大きさの文字で書く。 ・見出しをつける。 ・絵を入れる。	集めた情報を仲間に分かりやすく話すことができる。 ・原稿から目を離して相手を見て。	
3年	事象提示や活動、体験から「やってみたいな」「作ってみたいな」という自分なりの願いをもつことができる。	持ち物や方法など、活動に対する見通しを自分で分ることもできる。	身近なところから資料や情報を集めることができる。 ・地域の人に聞く。 ・本や図鑑などで調べる。 ・家族や友達に聞く。 ・簡単な図書資料などを見たりする。 ・実際に見に行く。	聞いたり調べたりしたことを、実際に行うことができる。	事実を順序よく書いたり、分かりやすく表したりすることができる。 伝えたいことを文や絵にかくことができる。	順序を考えてはつきりと話すことができる。 はっきりとはずかしがらずに話すことができる。	話し手が伝えたいことを落とさないように聞くことができる。
2年							
1年							

土台となる姿

- 自主的・意欲的に取り組む姿 (関心・意欲)
- 学習の方法や表現の方法を自ら決める姿 (自己決定力)
- 相手を思いやり力を合わせて活動する姿 (人間関係)
- ねばり強く活動を続ける姿 (持続力)
- 自分らしいアイデアを作り出す姿 (創造力)
- 自分の考えや思いを行動に移す姿 (行動力)